

## 【JIRA新年会が開催されました】

2026年1月7日、大手町のKKRホテル東京 瑞宝の間において、JIRA新年会が開催されました。新年のお忙しい中、会員ならびに行政・学会・各種団体からのお客様を含め200名を超える皆様にご参加を頂き盛会となりましたこととお礼申し上げます。

昨年2025年は、社会環境の変化が続く中、デジタル技術活用や業務効率化への動きが広がり、医療機器・画像医療分野でも、新たな技術やサービスの活用機会が増えた一年でした。本年新年会は、こうした環境の変化に呼应し、関係者の皆様で連携し、医療の質の向上、医療提供体制の充実に取り組むことへの思いが、登壇いただいた皆様のスピーチや、会場内の会話からも伺え、新たな年のスタートをきるのに相応しい会となりました。



お客様をお迎える (左から) 飯田副会長、園木副会長、瀧口会長、儀同副会長



会場 瑞宝の間全景

## 【瀧口会長より新年の挨拶】

開会にあたり、瀧口会長より新年の挨拶がありました。



瀧口会長は、年始の多忙な中での新年会への多くの参加に謝意を述べました。

冒頭、医機連賀詞交歓会や経済関連団体の合同新年会に触れ、政府による日本の成長戦略が、創薬・医療・先端医療を重要分野と位置づけていることに言及しました。画像医療システムを含む医療機器産業に、行政は将来への期待と具体的な支援を示しており、日本のさらなる発展には医療機器産業が国際市場で一層存在感を高めることが重要と強調し、その取組を通じ質の高い効率的医療の国民への提供を会員企業と目指したいと述べました。

国際情勢が不透明さを増す中、外部環境の変化に柔軟に対応し、業界で力を合わせ、画像医療システム産業の発展に取り組む必要性を訴えました。また、JIRAの部会・委員会活動への尽力に対し多くの関係者に感謝を表明し、会員一同が心をついに今後の活動を進めていくことを呼びかけました。

結びに、本新年会が参加者同士の交流を深め、1年の抱負を語り合う有意義な場になることを願うとともに、出席者の活躍とJIRAのさらなる発展を祈念して、会長挨拶を締めくくりました。

## 【行政ご来賓の皆様よりのご挨拶】

3省庁4名の皆様よりご挨拶を頂きました。

- 内閣府 健康・医療戦略推進事務局長 内山 博之 様
- 厚生労働省 医政局 医薬産業振興・医療情報企画課  
医療機器政策室長 南川 一夫 様
- 厚生労働省 医薬局長 宮本 直樹 様
- 経済産業省 商務・情報サービスG 商務・サービス審議官 井上 博雄 様



内山 博之 様



南川 一夫 様



宮本 直樹 様



井上 博雄 様

## 【乾杯】

ご来賓のスピーチに続き樋口副会長が登壇されました。

新年早々の国際情勢やAI活用の進化など、医療業界でも多くを考えなければならない難しい環境に触れ、JIRAの活動にしっかり前向きに取り組む決意を示された後に、乾杯のご発声がありました。



樋口 副会長

## 【閉会挨拶】



飯田 副会長

皆様の情報交換などが一区切りついたところで飯田副会長が登壇されました。

手締め由来を語られ、十回手を打つ一本締めは「九に一点」で、丸く収まる」の意で、三本締めは1回目が主催者、2回目が来場者、3回目が神様への感謝を示しており、この場も皆様のご健勝とご発展を三本で祈念しますとご挨拶され、盛大に三本締めでお開きとなりました。